

京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科
2012 年度 JASSO ショートビジット派遣報告書

報告者氏名

前畑 晃也

2011 年度 (入学・編入)

1. 研究課題:

マダガスカル南部有刺林地帯における鳥類群集の保全生物学的研究

2. 渡航先:

現地滞在期間: 平成 2012 年 7 月 3 日 ~ 2012 年 9 月 28 日 (88 日間)

3. 今回の派遣により、申請時に自身の目的としてあげた点について得られた知見を述べてください

目的: マダガスカル南部有刺林地帯における人為活動や環境要因が森林生態系、とくに鳥類群集に与える影響を定量的に評価し、その対策について保全生態学的視点から論じる。

得られた知見: マダガスカル南部に広がるサイザルアサのプランテーションにおける鳥類群集と、この地域の潜在的な植生である有刺林や灌木林、河辺林における鳥類群集を比較した。その結果、有刺林や灌木林における鳥類群集の多様度よりは劣るものの、サイザルプランテーションを利用する鳥類の種数や個体数は予想していたほど少ないものではないこと、また河辺林は年によって多様度に大きな差があることなどが分かった。しかし、こうした結果が生じた原因についてはよく分かっておらず、さらにデータ解析を進めることによって明らかにしていきたい。

4. 自身の今後の海外への渡航や留学に向けた課題や長期的な展望について述べてください

今回の渡航では、マダガスカル南部有刺林地帯において、乾季の森林性鳥類群集に関する基礎的な調査を行なった。今後は雨季における鳥類群集の動向も把握し、年間を通じての鳥類群集の動態を明らかにしたい。また、これら鳥類群集に関する概論だけでなく、マダガスカル南部有刺林を特徴づける各種鳥類についても詳細な調査を行ない、それらを植生調査や環境調査と合わせて考察したい。さらに、こうした調査によって得られた知見を基に、これらの貴重な生態系を今後どのようにして守っていくべきかについて提言を行なっていきたい。

5. 本プログラムに参加した感想や、今後どのような留学プログラムがあれば参加したいか、希望をお聞かせください

渡航期間に制限があるため、研究目的に沿って十分な調査を行なうことが難しいと感じた。しかし、資金を自由な形で研究に使えるという点においては調査を進めやすかったと思う。

また、調査を行なっていく上で、語学習得の重要性を切に感じたため、語学学習等のプログラムがあれば積極的に参加していきたい。

*1 ページを超えないようにしてください。

* **プリントアウトして、署名を記入の上、提出してください。**

署名